

住所 糟屋郡篠栗町乙犬966-7

Tel 092-947-1800

URL <http://www.fjkyo.or.jp/>

- 事業概要 浄化槽法に基づく浄化槽の検査、浄化槽の普及啓発活動
- 事務局・福岡検査センター（篠栗町）筑後検査センター（久留米市）筑豊検査センター（田川市） 従業員数66名

取組のきっかけ・概要

- 2007年に筑後検査センターで環境マネジメントシステム（EA21）の認証を取得し、他のセンターにも拡大。
- 福岡県の「エコ事業所」に登録するとともに、EA21で策定した計画に基づき、様々なエコ活動を実施し、環境負荷に関する項目のほか、様々な業務目標で進捗を管理。
- EA21の「環境経営レポート大賞・九州」で、2021年度にSDGs賞、2022年度に大賞を受賞。2022年度に「エコ事業所表彰」において、「地球にやさしい活動部門」で最優秀賞、「電気使用量削減部門」で優秀賞を受賞。



（上）事務局外観、（下）事務局事務室

取組事例

- EA21で策定した計画に基づき、節電や節水、ごみの減量・再資源化などの目標設定・進捗管理を行い、取組効果を見える化。各センター間で、環境負荷の進捗管理に関する内部監査を実施。
- 事務局の新社屋に、省エネ設備を多数導入し、環境負荷の大幅低減を実現。天井に九州産木材を利用し、人と地球にやさしい空間で仕事の効率をアップ。
- 業務管理システムと車のナビを連動させ、浄化槽検査ルートを効率化し、ガソリン使用量を削減。
- EA21やSDGsの担当者は、様々な部署から集め、得意分野を活かしている。また、若手中心にローテーションを組み、早い段階で経験させることで、取組内容や目標の達成感を共有し、取組の浸透を図っている。
- 環境省補助制度（浄化槽システムの脱炭素化推進事業）の申請窓口となり、浄化槽ユーザーの脱炭素化にも貢献。

課題点

- 「水環境の保全」に取り組んでいる当協会の活動が、省エネや脱炭素など環境負荷の低減や社会テーマの解決にどのように貢献できるのか、全職員で考え行動していく必要があった。

こうして解決！

- エコ活動やSDGsの担当に、様々な部署の若い職員を起用。
- 電気使用量や二酸化炭素排出量を毎年把握。経費を含めた削減状況をグラフ化して効果が見える化し、環境経営レポートで公開。
- 各センターごとに年に3~4回、目標の達成状況やエコに関する勉強会を開催し、課題や最新情報を共有。
- 全職員対象のアンケート結果をもとに、事業とSDGsを関連づけ、協会の活動が水環境保全のほか、地球温暖化対策など様々な社会テーマの解決にも貢献できることを、研修を通じ全職員で確認。

効果と今後の展望

効果

- コスト面では、15年間で約2,615万円の削減効果。
- 各課の職員が得意分野を活かすことで、活動に幅が広がり、人材育成にも繋がった。
- 環境経営を実践している企業であるとの認識に繋がった。

展望

- これからも、自治体や関係者と連携し、浄化槽の活躍の場を拡げ、地域の人や資源を活かした「低・脱炭素で住み続けられるまちづくり」に、貢献していきたい。



エコ事業所の表彰



浄化槽の普及啓発活動(環境フェア)

取組を始める 企業に向けての アドバイス

- EA21は、環境負荷低減や事業の進捗管理に役立ちます。
- また、SDGsを意識した活動と「福岡県SDGs登録制度」への参加などを通じた情報発信は、職員のモチベーションや企業価値の向上に繋がります。
- 若い職員を起用し、早期に「目標設定、職員への呼びかけ、成果の共有」のプロセスを経験させることで、脱炭素化や組織の活性化に繋がっています。